

令和 2 年度 事業報告書

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団

(令和 3 年度第 1 回評議員会)

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

生涯学習センターは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「北海道スタイル安心宣言」を踏まえ、徹底した感染防止対策を講じた上で6月から市民利用を開始し、9月からは中止していた「さっぽろ市民カレッジ」の事業を再開した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響の中、多様な学習機会の確保と継続的な学びを求める市民ニーズに応えるため、自宅でも学ぶことができる YouTube による動画配信講座を行ったところ、多くの視聴があり好評であった。

なお、不特定多数の市民が来館する「ちえりあフェスティバル」「サークル発表会・舞台部門」「ちえりあ映画会」「ロビーコンサート」などの事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

青少年科学館も同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、常設展示の一部休止や実演の休止などの措置を講じるなど、安全を確保しながら展示室を運営するとともに、プラネタリウムにおいても座席数を限定しつつ、科学への興味関心を喚起するよう努めた。

夏と冬の特別展では、コロナ禍においても楽しめるよう「錯視」や「センサー」をテーマに非接触で体験が可能な展示を企画、実施した。

また、小・中学校の理科授業の一環として行っているプラネタリウム学習投影では、観覧定員を約半分に縮小したことから、日程の再調整を行った結果、例年より受入れ学校数は減少したが、来館できない学校には学習投影内容を収録したオリジナルDVD教材を貸し出すなど理科授業への協力を行った。

その他、宇宙セミナーや天体観望会においては、YouTube のライブ配信を行うなど、オンラインによる参加を可能にし、学習機会の拡大に努めた。

公1 生涯学習普及振興事業

(定款第4条各号に掲げる事業)

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動および交流の場を提供し生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 学習機会提供・活動支援事業

(1) さっぽろ市民カレッジ

年間を3期(4~8月、9~12月、1~3月)に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系について合わせて107講座を実施した。市民の様々な学習ニーズに対応するため、生涯学習センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生(市民講師)の企画・運営による講座や大学・企業とも連携した講座を実施するなど、市民に多様な学習機会を提供した。

さらに、市立札幌大通高校を会場として、高校生と大人と一緒に学ぶ学社融合講座では、受講生の世代を超えた交流を図った。

ア 市民活動系

まちづくり活動などに参加するきっかけ作りの場を提供するため、札幌や北海道の文化・歴史・自然環境を深く知り、地域課題について考える講座や、個人の趣味や特技をまちづくり活動につなげるための糸口となる講座として「子ども食堂」の現状とこれから」と「気になる」ことから始めるまち活動」を実施した。

また、実践的な学びの場としての現地学習を取り入れた講座「建築からみる札幌の歴史」を実施した。

イ 産業・ビジネス系

働き方改革や多様な人材の積極的な活用など、これからの働き方に対応した講座やアイデアを生み出すトレンドの情報を学ぶ講座として「わかる！使える！マーケティング」や「納得から共感へ。プレゼン力を高めよう！」を実施した。また、講師のSNSを活用した集客体験をもとに企画した、「SNSで集客と売り上げUPを！」では、受講者が具体的な集客計画を立てるなど実践的な内容で実施し、ビジネススキルの向上を図った。

ウ 文化・教養系

現代的課題や社会の話題に関することなど、様々な分野のテーマを取り上げ、趣味や教養を学ぶことを入り口に、生きがいづくりや仲間づくりにつなげる講座として「解説！現代史」や「幕末、外国人が見た国際都市・箱館」を実施した。

学社融合講座では、「基礎から学ぶ手話」や「仕事や生活に役立つ！モノと時間の整理術」などを開講した。

ちえりあ学習ボランティア企画講座では、「パンデミックの歴史を紐解く」や「ここまで進化しているAI」など、時事問題を積極的に取り上げ開講した。

また、ご近所先生企画講座では、「学校では習わないリアルな英語」(中央図書館)や「最新テクノロジーで迫る古代世界」(澄川図書館)など、図書館等と連携を図った講座を開講した。

【実績】 さっぽろ市民カレッジ講座内訳

	センター 企画講座	学社融合 講座	ちえボラ 企画講座	ご近所先生 企画講座	講座数 計	受講者数 計
市民活動系	11	3	0	0	14	144
産業・ビジネス系	4	6	0	0	10	104
文化・教養系	9	4	10	60 (うち連携会場) 19	83	990
合計	24	13	10	60	107	1,238

(2) 生涯学習関連講座

大学と連携し、その特性や資源を生かした講座を実施した。

大学との連携事業

各大学の特性を生かしながら、学生が企画から運営までを行う講座の実施や動画を活用した学習支援の取り組みを行った。

【実績】 札幌市立大学

「建築からみる札幌の歴史・秋～札幌本府の成り立ち～」 受講者 10名

北海学園大学

「不器用でも絶対作れる！はじめてのマスクづくり」(動画作成)

「焼かずに冷やすだけ！簡単チーズケーキ」(動画作成)

「大学准教授による恋愛の心理学」(動画作成)

(3) 生涯学習普及事業

ア CDコンサート

生涯学習センター所蔵の音響機器と視聴覚資料を活用し、良質な音響環境で名演奏に親しむ場を提供した。

【実績】 2回 15名

イ カルチャーナイト (主催:カルチャーナイト実行委員会)

夜間、公共施設などを開放し文化活動の発信を通じて、市民の地域文化への関心を高めるとともに、新しい地域文化の創造と発展を図る「カルチャーナイト」に、動画配信にて参加した。

【実績】 7/17(金)「ちえりあホール探検し隊」(動画配信)

ウ 市民交流スペース「ちえテラス」運営

ブックカフェスタイルに改修した生涯学習支援スペース「(愛称)Chie Terrace(ちえテラス)」で、小学生以下を対象にしたぬりえ・お絵描き展を実施した。

【実績】 ぬりえ・お絵かき展 44 作品展示

エ 20周年記念事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったちえりあフェスティバルの代替えとして、講座の動画配信を行い、市民カレッジの人気講座の講師やご近所先生企画講座の講師の協力を受け、多様なオンライン学習の機会を提供した。

【実績】 ご自宅先生ミニ講座 22 本(動画配信)

ミニさっぽろ市民カレッジ 「今日の楽器」12 本(動画配信)

「日本の歌をうたおう」3 本(動画配信)

(4) 学習活動支援事業

サークル発表会

ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体が学習成果を披露する「サークル発表会」を開き、サークル参加者の活動意欲の向上を図るとともに、広く市民に鑑賞の場を設け、サークル活動や学習活動に対する興味・関心を高めた。

【実績】 作品展示 11/26(木)~30(月) 参加 17 団体 40 名

2

学習支援者活用・育成事業

(1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

ア 市民講師育成事業(ご近所先生)

ご近所先生企画講座の講師を希望する市民を対象に、講師としての資質向上とスキルアップを目的とした研修会を、動画配信にて実施した。また、講座運営の際の新型コロナウイルス感染拡大防止のための注意点などについて説明する特別研修を動画配信にて実施した。なお、講師同士が交流・研鑽する「講師交流会」についてはオンラインで開催した。

【実績】 4/18(土) スキルアップ研修会 1 回 (動画配信)

10/20(火)~11/24(火) 特別研修会 1 回(動画配信)

2/23(火) 講師交流会 1 回 21 名(オンライン開催・事前に操作説明会あり)

イ 生涯学習ボランティア育成事業

(a) ちえりあ学習ボランティア

市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」の活動として、講座企画・運営を話し合う定例会を実施した。

【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者数 48 名

ウ 職場体験などの受入れ

中学校や高等学校、大学等から、職場体験や社会教育演習の実習などを受入れ、若年者の職業観や就労意欲を高め、キャリア形成を支援することで、生涯学習・社会教育への興味・関心を深めた。

【実績】 職場体験 3校 23名

札幌市立大学	3名
北海道札幌琴似工業高校	2名
北海学園大学	18名

エ 生涯学習関連施設職員研修

区民センター、地区センターなどの職員を対象に、事業の運営に必要な知識やノウハウを身に付ける研修として、「ポストコロナの生涯学習を考える」「講座に使うYouTube(前後編)」など2種3本の動画を作成し、各施設の職員が視聴できるようにした。

【実績】 研修動画 2種3本 視聴回数 延べ 88回

「ポストコロナの生涯学習を考える」

「講座に使う YouTube(前後編)」

(2) ボランティア等活用事業

ア 学習支援者活用・育成事業

(a) ちえりあビデオクルー

映像メディア講座受講修了者で結成されたグループの活動として、団体の活動内容を話し合う定例会を実施した。

【実績】 登録者数 23名

(b) カメラボランティア

写真の撮影技術や知識を学ぶ講座の修了生がつくるボランティアサークルに活動の場を提供した。例会は8回開催し、市民カレッジ「カメラで始めるボランティア活動！」の運営補助を務めてもらった。

【実績】 登録者数 8名

(1) 施設の貸与

ア 貸室事業

市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を条例に基づき有料で提供し、生涯学習活動の支援と普及振興を図った。

【実績】 貸室利用件数 7,466 件 144,829 名 利用率 62.3%

イ ロビー・ギャラリーの活用

ロビーでの作品展示やギャラリーの無料貸出しを行うなど、学習成果発表の機会提供及び学習意欲の向上を図るとともに、施設に賑わいをもたらした。

【実績】 ギャラリー利用件数 4 件

(2) 学習相談・情報提供

ア 学習相談、サークル・講師の紹介

メディアプラザでの学習相談をはじめ、生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、「ちえりあ市民講師バンク」に登録している講師や、サークル活動の内容を紹介するなど、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

【実績】 メディアプラザ学習相談	10,620 件
ちえりあ市民講師バンク登録者数	243 名
サークル登録	163 件

イ 広報誌の発行

生涯学習センターの事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、市内公共施設などに配布した。また、LINEによる広報誌の配信を行った。

【実績】 6回発行（5月、8月、9月、10月、12月、2月）各 11,000 部
LINE 公式アカウント友達登録者数 519 名

ウ ホームページの活用

生涯学習センターの事業や講座、臨時休館等に関する情報などをホームページにて発信した。

【実績】 ホームページアクセス数 622,682 件

エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

行政機関、高等教育機関、カルチャーセンター、NPOなど、市民向けに学習機会を提供している施設の特徴や主な開催講座等の情報を掲載する冊子「さっぽろ生涯学習情報 大人の学び場MAP」を発行し、市内の公共施設等で配布した。

【実績】 2回発行（8月、2月）各 5,000部

オ 「子どもの学びガイド」の発行

小学校の夏休み前と冬休み前に市内の公共施設で開かれる子ども向け事業を紹介する案内チラシ「子どもの学びガイド」を制作し、市立小学校の全児童に配布して、児童と保護者に情報提供を行った。

【実績】 4回発行（6月、7月、11月、12月）各 93,000部

カ 調査研究事業

新型コロナウイルス感染症の影響の中、生涯学習機会の確保と継続的な学びを求める市民ニーズに応えるために、在宅時間が長引いている市民に向けて、家にいながら生涯学習情報を入手することができる「インターネット配信形式の生涯学習講座」の実施について調査研究し、試行的に動画を配信した。

【実績】 動画配信講座提供 23本 視聴回数 6,887回

キ 利用者などの声を生かす取組み

(a) 札幌市生涯学習センター運営協議会

利用者の代表や外部有識者などによる協議会を開催し、生涯学習センターの事業や運営についての意見を今後の施設運営の改善に生かすよう検討した。

【実績】 3回実施 8/26(水)、11月(書面開催)、2月(書面開催)

(b) 利用者アンケートの実施

生涯学習センター利用者を対象に接遇や施設利用に関するアンケートを行い、施設設備の改善や生涯学習センターの管理運営に生かした。

【実績】 アンケート回収件数 2,705件

(3) 図書及び視聴覚教材の閲覧・貸出し、資料収集並びに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

市民の調べ学習に役立つ図書及び視聴覚教材(音楽・映像)を収集し、図書閲覧・貸出し、音楽CD(約1万2千点)の鑑賞・貸出しなどを行うとともに、レファレンスサービスを通じて学習活動の支援を行った。

【実績】 来場者数 86,782名

利用件数 62,099件(図書の貸し出し・予約ほか)

利用者数 44,389名

(a) 図書閲覧・貸出し

利用者の幅広い調べ学習を支援するため、蔵書約 2 万 5 千冊を閲覧及び貸出しに供するとともに、市内の他の図書館・図書室との相互の取り次ぎサービスに対応した。また、図書を活用した生涯学習を支援するため、レファレンス業務を行うなど、所蔵資料や職員の専門性を活かした事業を展開した。

【実績】 図書・CD 貸出数 56,990 点

(b) 音楽・語学教材・映像の視聴

クラシックを中心とした音楽資料のほか、映像資料、語学教材など約 3 万点の資料の提供を行った。音楽CDは、館内で鑑賞できるほか館外貸出しにも供する。特集展示やイベントも実施して各種資料の周知と利用促進を図った。

【実績】 館内貸出	音楽教材	733 件
	映像教材	1,617 件
館外貸出	【再掲】図書・CD 貸出数	56,990 点

イ 視聴覚センター管理運営業務

札幌市からの委託により、視聴覚教育の推進と市民団体や学校などへの学習支援を行うことを目的に、視聴覚センターの管理運営を行った。

(a) 視聴覚教育教材の貸出し

市内の学校、町内会やサークルなどに対して 16 ミリフィルム・ビデオ・DVD教材の貸出しを行った。また、貸出しと並行して、自主制作教材はデジタルアーカイブ化して、視聴覚センターのホームページから自由に閲覧・利用できるようにした。

【実績】 教材貸出数	503 本
機材貸出数	31 台
デジタルアーカイブアクセス数	152,230 件

(b) 学習教材の制作

学校教育関係者と連携協力し、地域に密着した内容の視聴覚教材を制作した。

【実績】 2 本

(c) 視聴覚操作技術等講習会

① ビデオ制作ワークショップ

自主製作教材の制作技術向上を図る研修を、オンラインで実施した。

【実績】 動画 4 本 視聴回数 238 回 配信期間 12/24(木)~1/31(日)

II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

4 科学及び科学技術普及振興事業

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(a) 日曜実験室

小・中学生を対象に、身近な題材や現象を取入れた実験教室を日曜・祝日に実施した。

【実績】 11月～2月	「色がいろいろ」	21回 54名
3月	「おもしろ電池 作って ためて 動かして」	5回 36名

(b) 科学館の工作室

工作を通して科学原理の理解を深める機会を提供するため、主に小・中学生を対象に工作教室を実施した。

<小中学生向け>

【実績】 48回 149名

「ころころコリントゲーム」、「かえってきたぞ！はやぶさ2」ほか

<冬休み工作会>

【実績】 7日間 21回 94名

1/8(金)～11月(祝)、1/15(金)～17(日) 「おさんぼわんちゃん」

<春休み工作会>

【実績】 3日間 6回 28名

3/26(金)～28(日) 「スーパーわに太郎」

(c) 大人のための天文教室

星空を楽しむ基礎知識や星座早見盤の使い方を学ぶ「やさしく学ぶ星空教室」などを実施した。今年注目の天文現象や、宇宙に関するニュースを紹介した。

【実績】 「やさしく学ぶ星空教室」 1回 26名

「詳しく学ぶ天文教室」 1回 35名

(d) 親子天文教室

小学生とその保護者を対象に、天文工作と天体観測を組み合わせた天文教室を実施した。

【実績】 冬休み 3回 34組 72名

(e) 宇宙セミナー

「はやぶさ2」が小惑星からのサンプルリターンに成功したことを機に、試料分析に携わる専門家による講演会を実施し、YouTube を用いてライブ配信を行った。

【実績】 1回 71名

3/21(日) 「小惑星探査の時代 はやぶさ、はやぶさ2、オシリス・レックスから MMX へ」

講師：北海道大学大学院理学院 自然史科学専攻 教授 坂本尚義氏

(f) 先端科学技術講座

最先端の科学技術への興味・関心を高めるため、常設展示では補えない最新の科学研究について紹介する講演会をオンラインで実施した。

【実績】 1回 56名

1/15(金) 山崎直子宇宙飛行士オンライン講演会 「with コロナと宇宙生活」

イ 出前イベント

(a) 移動天文台

学校や町内会、青少年育成委員会などからの要請により、移動天文車と職員及び天文指導員を派遣し、望遠鏡を用いた天体観望や星空解説を行う観望会を実施した。

【実績】 申込数 12件

天体観望 3件、中止 9件

ウ その他科学普及に関する事業

(a) 科学クラブ運営

リピーターの拡大を図るため、小・中学生を対象に会員を募り、会員向けのメールマガジンを発行し、職員による科学コラムを掲載するなどの教育普及活動を行った。

【実績】 会員 39名（新規 0名、更新 39名）

(b) 職場体験などの受入れ

児童・生徒の総合的な学習や学生の自主研修などへの支援として、実習生を受け入れ指導した。

【実績】 2校 3名

(c) 実験実習セット貸出し及び制作

学校での効果的な授業作りに役立つ実験・実習セットを貸出すとともに、観察試料用の微生物を提供した。

【実績】 貸出し 14団体 34セット

(d) 教員研修

札幌市教育センターからの依頼により小学校理科における観察、実験の基礎・基本を学ぶとともに、指導の実際及び工夫について把握するための研修を行った。

【実績】 5回 67名

7/31(金)、8/4(火)、1/8(金)、1/28(木)、2/4(木)

令和2年度札幌市初任段階における研修

「1年次研修」(初任者研修)「選択研修」 小学校理科実験入門 67名

(e) 博物館実習等の受入れ

学芸員の資格取得を目指す大学生等を受入れ、指導した。

【実績】 2回 2校 45名

8/21(金) 博物館実習の見学実習(北海道大学・オンライン授業) 44名

9/1(火)~13(日) 博物館実習生(北翔大学) 1名

Ⅱ 共催事業・協力事業

(a) 宇宙の日 作文・絵画コンテスト

「宇宙の日(9月12日)」を記念して、小・中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品の募集を行った。

【実績】 作文・絵画合計 136点

(b) さっぽろ星まつり

市民の天文への興味・関心を高めるために、サッポロさとらんどを会場に天体観望会や星に関するゲームを行った。

【実績】 8/29(土)~30(日) 1,600名

(c) 札幌市創意くふう作品展

小・中学生の自由研究作品の展示と表彰式の会場提供を行った。

【実績】 9/19(土)~20(日) 展示 82点 入賞 30点

(d) 他団体との連携による科学教室等

企業や研究団体と連携し、通常では実施が困難な専門的な内容の科学教室の実施や館内事業の充実を図った。

また、動画コンテンツの提供という形での事業協力を行った。

【実績】 8回 2,603名

	日程	名称	形態・連携先	参加者数
1	7/11(土)	地域プロジェクト演習 (オンライン実施)	札幌市立大学	2名
2	9/19(土) ~20(日)	札幌市創意くふう作品展	札幌市創意くふう作品展 実行委員会ほか	1,586名 ※展示室観覧者数
3	11/3(火)祝	科学”大”クイズ The Movie	北海道科学大学	60名程度

4	11/7(土)	サイエン ZOO 動物園科学の日	札幌市円山動物園	90 名
5	12/13(土)	大人のジオ・フェスティバル in Sapporo 2020 (オンライン実施)	ジオ・フェスティバル in Sapporo 実行委 員会	科学館会場:13 名 オンライン:24 名
6	12/16(水) ~1/12(火)	ふしぎ・おどろきサイエンスキッズ (オンライン実施・コンテンツ提供)	札幌市子ども育成連 合会	123 名
7	12/18(金)	第 11 回全国理工系学芸員研究 大会(オンライン実施)	大阪市立科学館ほか	17 名
8	1/30(土) ~31(日)	新さっぽろ冬まつり ※写真と川柳のコンテスト	厚別冬まつり実行委 員会	写真:90 作品 川柳:598 作品

(2) ボランティアなどの育成・活用事業

ア 天文指導員の養成

定期研修や天文事業への参加機会を提供して天文普及の一翼を担う人材を養成した。

【実績】 登録者数 39 名(新規 0 名、継続 39 名)

イ 展示ボランティア等の養成

将来的なボランティアの導入に向けて、昨年度に引き続き、当館元職員(教員OB)の協力を得て試行的に導入した。

【実績】 登録者数 3 名

(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学資料の収集

(a) 科学技術に関する資料の収集

展示物の更新・改良の基礎資料およびPOPのデザイン等を作成する際の参考として、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。

(b) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物に加えて、職員が自ら撮影した天体写真などの資料を 1 階エントランスにて掲示した。なお、撮影した天体写真はインターネットを通じて公開した。

【実績】 4 月 昼間の金星

6 月 部分日食

7 月 ネオワイズ彗星

8 月 ペルセウス座流星群

12 月 ふたご座流星群

3 月 オリオン大星雲 など

イ 科学情報の提供・学習支援

(a) 「星空散歩」の発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを隔月で発行し、市内公共施設などで配布した。

【実績】 6回発行（4月、6月、8月、10月、12月、2月）計 42,500部

(b) ホームページによる学習支援・情報発信

科学館ホームページに科学トピックスや学習支援のためのワークシートなどを掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館や事業の縮小などを補うため、Twitterなどでプラネタリウムや科学館の展示物などの魅力を紹介する試みを行った。

【実績】 ホームページアクセス数 299,679件

5 青少年科学館等管理運営事業

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(a) 常設展示

見て、触れて、考えるをテーマに、各コーナーの展示物をより楽しく理解しやすくするよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらった。

【実績】 2/2(火)～3/21(日) SNOW MIKU×展示室 16,262名(展示室利用者数)

(b) 展示実演等

① サイエンスショー

来館者とのコミュニケーションを図りながら科学への興味・関心を深めてもらえるよう、不思議な現象の紹介や楽しい実験などの実演ショーを行った。

【実績】 420回 9,093名

4月	「まわって おちて とびだして」	7回	30名
7～8月	「飛んで、跳んで、とんで…」	89回	2,394名
9～12月	「回って、回して、何が起こる…？」	176回	3,480名
1～3月	「音、光、地震…並じゃない波」	148回	3,189名

② テレビスタジオ

クロマキーなどテレビ番組で使われている特殊効果を紹介するとともに、実際に撮影体験してもらう参加型の実演を行った。

【実績】 2回/日

③ 人工降雪装置

人工的に雪が降る状態に近い環境を作ることで、雪を降らせることができる装

置の公開を行った。

【実績】 4 回/日

④ ちょびっとサイエンス

展示室内で、簡単な科学体験や実演を行った。

【実績】 6 回/日 「お湯が冷たく感じるフシギ体験」「てつおのおさんぽ」など

(c) 実験・実習への協力

札幌市教育委員会の主催により、科学館の展示物を活用し、市内の小・中学校の理科授業の実施に協力した。

【実績】 理科授業プログラム 7校 729 名

イ 特別展等

(a) 特別展

夏休みや冬休みなどの期間に、話題性の高いテーマや特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示中心の特別展を開催した。

夏休みは「錯覚」、冬休みはコロナ禍における科学技術をテーマに、非接触型の体温計やサーモグラフィカメラ等にも活用されている「センサー」を取り上げ、それぞれ非接触型の内容で実施した。

また、感染症予防の普及啓発を図るために、子ども向けの新型コロナウイルス感染症に関するパネル展を開催した。

内容の監修は北海道大学と札幌医科大学の教員に依頼し、展示資料についても日本赤十字社や高知みらい科学館、株式会社日立ハイテクから借用するなど関係機関等と連携して実施した。

【実績】

8/8(土)~16(日)	「えっ！どうして？不思議な錯覚の世界」	9 日間	7,097 名
1/5(火)~19(火)	「～あそんで発見～感知、探知、検知！センサー展」	15 日間	5,217 名
1/5(火)~3/31(水)	パネル展「新型コロナウイルスを知ろう！」	70 日間	21,862 名

(b) 環境科学展

市内等の企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状などについて、各企業・団体の活動紹介等を行うパネル展を実施した。

【実績】 10/20(火)~11/1(日) 11 日間 4,217 名

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影・解説

(a) 一般投影

職員が、各回の観望者の年齢層にあわせて内容や話し方を工夫した生解説を行うなど、観望者に分かりやすく星座や天文知識を紹介した。

【実績】 893回 40,457名

(b) 学習投影

小・中学校を対象に、理科授業の一環として、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影を行った。来館できない学校には学習投影内容を収録したオリジナルDVD教材を貸し出した。

【実績】 139回 9,601名

(c) オート番組制作

一般投影時に用いるプラネタリウムオート番組(ドーム全体に投影されるアニメーション動画)を制作・購入した。

【実績】 オリジナルオート番組「サイエンジャーと流れ星のひみつ」制作

「HAYABUSA2～REBORN 帰還バージョン」購入

「ブラックホールを見た日～人類100年の挑戦～」購入

イ プラネタリウム特別投影

(a) 特別投影

6月は全国で部分日食が見られることを受け、その前日に日食を取り上げた投影を企画した。12月には中垣哲也氏を招いて、オーロラに関する特別投影を実施した。2～3月には、初音ミク(雪ミク)とコラボした特別投影を実施した。

【実績】 6/20(土)	「黒い太陽を追って」	1回 48名
12/18(金)～20(日)	「中垣哲也オーロラ投影&トークショー」	5回 186名
2/6(土)～7(日)、 3/19(金)～20(土)	「SNOW MIKU ナイトプラネタリウム ～Twinkle Stars Harmony♪2」	6回 466名

(b) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な人も理解できるよう、字幕付きの投影を行った。

【実績】 11/14(土)～15(日)、3/13(土)～14(日) 4回 211名

ウ 天体観望事業

(a) 天体観望会

オンライン観望会として、YouTube を用いて天文現象の様子をライブ配信した。

【実績】 3回 再生数 5,690回

6/21(日) 部分日食インターネット中継	3,371回
12/21(月) 木星土星超大接近インターネット中継	2,097回
3/15(月) オンライン天体観望会(オリオン大星雲、ばら星雲)	222回

(b) 札幌市天文台公開

中島公園内にある札幌市天文台を公開し、観望会を実施した。

【実績】 507回 4,479名

(c) プラネタリウム祭り

プラネタリウムの可能性や認知度を高めるとともにその魅力を広く市民に伝えるため、親子向けのキッズプラネ、大人向けのヒーリング、話題のはやぶさ2など、幅広いジャンルと組み合わせた内容のイベントを実施した。

【実績】 4日間 1,312名

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

イベント情報などを盛り込んだ広報誌「科学館ニュース」を毎月発行し、市内の幼稚園、小・中学校に配布した。また、区役所や区民センターなどのコミュニティ施設や図書館などの社会教育施設に配布し、市民への情報発信に努めた。

【実績】 10回 181,800部

イ 利用者などの声を生かす取組み

(a) 利用者アンケートの実施

来館者への対面式アンケートから web 形式に試行的に変更し、利用目的や満足度について調査を行い、館の運営に役立てた。

【実績】 95名

(b) 科学館運営協議会の開催

学校関係者や学識経験者などからなる協議会を開催し、科学館の事業や運営についての意見を今後の科学館運営の改善に生かすよう検討した。

【実績】 2回開催

ウ 小学校・中学校連絡会の開催

科学館の運営や事業について必要に応じて学校関係者と意見・情報交換を行った。

収1 物品販売等事業

(定款第4条第6号に掲げる事業)

(1) 売店の運営

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした売店事業を行った。

(2) 自動販売機の設置・販売

札幌市生涯学習センターと札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした自動販売機事業を行った。

(3) 飲食店の運営

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、「Chie Terrace(ちえテラス)」における飲食店運営をタリーズコーヒージャパン(株)に委託し、来館者への飲食等提供事業を行った。

他1 生涯学習施設の公益目的外貸与等事業

(定款第4条第5・6号に掲げる事業)

(1) 施設の貸与

企業などの利用を含む公益目的以外の目的に対し、ちえりあホール及び各種研修室を貸与した。

(2) 駐車場管理業務

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、利用者への便益提供を目的とした駐車場の管理運営を行った。

(3) 施設管理受託業務

札幌市から受託した、札幌市生涯学習総合センター内の札幌市教育センター、宮の沢若者活動センター、リサイクルプラザ宮の沢などの警備、清掃業務を行った。

● 令和2年度 管理運営施設利用状況

● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況

項目		令和2年度	前年度対比	令和元年度
貸室（25室）	利用率（％）	62.3%	78.1%	79.8%
	利用人数（人）	144,829	29.0%	498,631
1日あたりの利用者数（人）		536	37.3%	1,437

● メディアプラザ利用状況

項目	令和2年度	前年度対比	令和元年度
メディアプラザ利用人数（人）	86,782	48.7%	178,135
一日あたりの利用者数（人）	294	57.3%	513

● 視聴覚センター教材貸し出し状況（16ミリ・ビデオ教材・機材）

項目	令和2年度	前年度対比	令和元年度
貸出本数	503	61.4%	819
デジタルアーカイブスアクセス数	152,230	167.7%	90,764

● 札幌市青少年科学館観覧者数

		令和2年度			前年度 (令和元年度)
		個人	団体	合計（人）	
展示室	大人	28,440	4,702	33,142	80,436
	小人	30,637	12,193	42,830	115,848
小計		59,077	16,895	75,972	196,284
プラネタリウム	大人	15,939	1,536	17,475	43,050
	小人	12,702	10,280	22,982	55,137
小計		28,641	11,816	40,457	98,187
合計		87,718	28,711	116,429	294,471
1日あたりの観覧者数（人）		414			1,048

● 令和2年度 生涯学習センター貸室利用状況（貸室別）

項目		令和2年度	前年度対比	前年度 (令和元年度)
ホール	利用率	35.4%	48.7%	72.7%
	利用人数	29,940	21.7%	137,830
講堂	利用率	56.8%	83.0%	68.4%
	利用人数	22,058	31.6%	69,900
大研修室	利用率	59.1%	78.5%	75.3%
	利用人数	10,729	25.5%	42,080
中研修室1	利用率	56.8%	72.2%	78.7%
	利用人数	6,343	25.0%	25,329
中研修室2	利用率	60.3%	72.7%	83.0%
	利用人数	6,046	23.5%	25,741
演劇スタジオ1	利用率	80.5%	84.4%	95.4%
	利用人数	7,624	40.4%	18,878
演劇スタジオ2	利用率	88.3%	92.0%	96.0%
	利用人数	4,286	40.1%	10,688
音楽スタジオ1	利用率	63.8%	72.1%	88.5%
	利用人数	1,528	20.7%	7,383
音楽スタジオ2	利用率	64.6%	69.6%	92.8%
	利用人数	1,812	22.3%	8,114
映像スタジオ	利用率	65.4%	81.9%	79.9%
	利用人数	5,345	35.8%	14,948

● メディアプラザ音楽・映像教材保有数

	CD	LP	SP	LD	VHS	DVD	合計
保有数	12,665	8,763	1,946	1,884	192	1,229	26,679
うち新着数	163	0	0	0	0	8	171

令和2年度 (令和2年4月1日~令和3年3月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための事業対応

※ 全事業共通対応:換気・除菌の徹底、間隔の確保、実施回数・定員の縮小 等

【札幌市生涯学習センター】(休館期間:令和2年4月14日~5月31日)

【01】 さっぽろ市民カレッジ 中止講座数内訳

	センター企画講座	学社融合講座	ちえボラ企画講座	ご近所先生企画講座	計
市民活動系	9	3	0	0	12
産業・ビジネス系	9	6	0	0	15
文化・教養系	12	17	5	81	115
合計	30	26	5	81	142

【02】 中止事業

事業名・イベント名	日程	回数
視聴覚センターの管理運営	4/1~5/31 ※一部再開期間あり	-
メディアプラザの運営	4/1~6/10 ※一部再開期間あり	-
貸室事業	4/14~5/31	
飲食店の運営	4/14~5/31 ※6月~営業時間短縮	
ちえりあ学習ボランティア 月例	4/18、5/16、6/20	3回
ちえりあビデオクルー(学習支援者)	4~6月	活動なし
カメラボランティア(学習支援者)	4~7月	活動なし
ちえテラスの運営(読み聞かせ等)	4~2月	21回
ちえりあ映画会	4~2月	11回
CDコンサート	4~2月	9回
ロビーコンサート	5~2月	10回
講師募集説明会(市民講師の育成)	6月、10月	2回
ちえりあフェスティバル	8/23	1回
北海道吹奏楽フェスティバル	2月	1回
ミュージックシアター	年3回	3回
中学校校内放送技術講習会	年2回	2回
中学校校内放送コンテスト	年1回	1回
ゆりかごコンサート	年1回	1回
市民ファシリテーター(学習支援者)	-	活動なし
コーラスボランティア(学習支援者)	-	活動なし
オンデマンド(生涯学習ボランティア)	-	活動なし
ロビー展示	-	展示なし

【03】 変更事業

事業名・イベント名	日程	回数	対応
ちえりあ学習ボランティア総会	4/18	1回	書面決議に変更
市民講師の育成 (ご近所先生講師研修会)	4/18、 10/20～11/24	2回	日程・内容変更(動画配信、オンデマンド開催)
ちえりあ学習ボランティア (ちえボラ学級・新人研修会)	7/18	1回	日程・内容変更
サークル発表会	11/26～11/30	1回	作品展示のみ実施、舞台発表中止
市民講師の育成 (ご近所先生講師交流会)	2/23	1回	日程・内容変更(オンライン開催)
生涯学習関連施設職員研修	3/10～3/25	1回	日程・内容変更(オンデマンド開催)
調査研究事業	通年	1回	内容変更
ちえテラスの運営	通年	—	絵本の読み聞かせ・無料講座・音楽コンサートを中止 ぬりえ・お絵かき展のみを開催
さっぽろ市民カレッジ	—	—	内容変更、広い会場に変更、体調不良やコロナ不安に伴う 返金対応 等
広報誌の発行	—	—	奇数月の発行を 5・8・9・10・12・2 月発行に変更

【札幌市青少年科学館】(休館期間:令和2年4月1日～4月6日、4月14日～6月1日)

【01】 中止事業

事業名・イベント名	日程	回数
春休みイベント「春だ！わくわくサイエンス！」	3/26～4/5	1回
【実演】テレビスタジオ	4/1～6/30	-
【実演】ロボットショー	4/1～現在	-
【実演】人工降雪装置	4/1～2/25	-
【実演】低温展示室	4/1～現在	-
(一部展示物)スーパードリームライドなど	4/1～現在	-
学習サイエンスショー	4/1～現在	-
日曜実験室	4/1～10/31	55回
科学館の工作室(通常回)	4/1～8/23	26回
天文指導員研修	4/18、5/30	2回
札幌市天文台夜間公開	4～7月	24回
ゴールデンウィークイベント	5/1～5/6	1回
キッズプラネタリウム	5/1～5/6	6回
プラネタリウムで星空スナップ撮影会	5/1～5/6	6回
移動天文台	6～7月募集分	1回
サイエンジャー科学教室「AM/FMラジオをつくろう！」	6/13	1回
サイエンジャー科学教室「走れ！ロボットカー」	6/27	1回
夏休み工作会	7～8月	48回
親子天文教室	7/27～7/29	3回

科学館を楽しむ方法講座	7/11、12/12	2回
サイエンジャー科学教室「KidsVentureIchigoJam プログラミング教室」	7/28	1回
親子工場見学～セメント工場を見に行こう！～	7/28	1回
かるちやる net スタンプラリー	8月	-
移動プラネタリウム	8/1～現在	-
サイエンジャー科学教室「北海道小学校理科教育研究会連携教室」	8/6	1回
夏休み天体観望会	8/12	1回
サイエンジャー科学教室「携帯電話を分解しよう」	9/26	1回
大人のための天文教室 天体写真講座	-	-
サイエンス厚別	10月	1回
サイエンジャー科学教室「ヒグマの科学」	11/7	1回
スカベンジャーロボット教室	11/8	1回
マイコンレーサー北海道大会	11/14～11/15	1回
科学技術振興作品展	12/5～12/6	1回
雪と氷の野外ワークショップ	1/10～1/11	2回
CISE サイエンスフェスタ	1月上旬	1回
サイエンジャー科学教室「恐竜の科学」	2/6	1回
サイエンジャー科学教室「トライサイエンス」	2/27	1回
北海道インターナショナルサイエンスフェア	3/12～3/13	1回
ちよびっとサイエンス	毎月第2、第4土曜日	40回
昼間の星を見よう	-	通年
天文相談コーナー	-	
高校生の日	開催時期未定	1回
サイエンス広場		

【02】 変更事業

事業名・イベント名	日程	回数	対応
科学館の工作室(通常回)	8～1月	48回	対象限定(未就学児の参加不可)
札幌市天文台夜間公開	8月～1月	29回	電話での事前予約制へ変更 等
札幌市天文台昼間公開	8/1～現在	-	電子観望へ変更 等
【実演】テレビスタジオ	7/1～現在	-	内容・定員の縮小 等
【実演】サイエンスショー	8/1～現在	288回	広い会場に変更
【実演】人工降雪装置	2/26～現在	-	公開方法の変更
日曜実験室	11/1～現在	26回	定員縮小
夏の特別展 「えっ！ どうして？ 不思議な錯覚の世界」	8/8～16	-	日程の変更、企画を変更し非接触型特別展として実施
移動天文台	8～10月 募集分	-	透明フィルムを用いて直接観望へ変更等
天文指導員研修	8～11月	4回	一部オンラインによる開催へ変更
宇宙の日 作文・絵画コンテスト	募集 ～9/12 作品展	1回	館内での審査に変更 等

	1/5~1/9		
札幌市創意くふう作品展	9/19~9/20	1回	広い会場に変更
大人のための天文教室 ・やさしく学ぶ星空教室 ・詳しく学ぶ天文講座	10~1月	2回	広い会場に変更 グループワーク無し
スペシャルサイエンスデー(開館記念感謝デー)	10月	1回	1day イベントから1カ月開催に変更
環境科学展	10/20~ 11/1	1回	日程・内容変更(パネル展)
科学“大”実験 The Movie	11/3	1回	体験プログラムを動画上映に変更
大人のジオフェスティバル in Sapporo	12/13	1回	日程・内容変更(オンライン開催)
ふしぎ・おどろきサイエンスキッズ	12~1月	1回	内容変更(オンデマンド講座)
第11回全国理工系学芸員研究大会	12/18	1回	日程・会場・内容変更(大阪市立科学館 によるオンライン開催)
冬の特別展 「～あそんで発見～感知、探知、検知! センサー展」	1/5~1/19	-	企画を変更し非接触型特別展として実施
先端科学技術講座 山崎直子宇宙飛行士オンライン講演会 「Withコロナと宇宙生活」	1/15	1回	日程・内容変更(リモート出演)
サイキッズ友の会	-	-	新規募集中止、メールマガジン配信のみ
学習投影	-	通年	希望校にはDVD貸し出し
科学館ニュースの発行	-	-	4~6月に休刊した分を12月に臨時号で発行
利用者アンケート	-	通年	1年を通したWebアンケートに変更

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年6月

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団